

(町長提案理由の説明)

本日ここに令和4年金山町議会第4回定例会を招集しましたところ、議員の皆様のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

当面の諸課題について所信の一端を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

始めに、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、福島県において、3月7日から5月15日まで感染拡大防止重点対策、5月16日から6月12日までは、子どもの感染拡大防止重点対策がとられています。県内の状況としては、ゴールデンウィーク後、感染拡大の傾向が見られましたが、現在は、落ち着いて来ていると感じております。

町内でも、これまでに19名の感染者が確認されており、それぞれに対応した、感染拡大防止対策に取り組んで参りました。今後も引き続き感染防止に努め、状況を見ながら各種事業を進めて参る考えであります。

次に、ワクチン接種についてであります。接種率は、1・2回目が91.5%、3回目が90.7%であり、4回目の接種は、7月25日から一般の方を対象とした接種を始める予定であります。対象者は、3回目接種から5ヶ月以上経過された方で、60歳以上の方、18歳以上60歳未満の方のうち基礎疾患を有し、重症化リスクが高いと医師が認める方などとなります。17歳以下の方は、対象とはなりません。町では、約1,200名の方が対象になると試算しております。

町民の皆様には、追加接種の案内とワクチン情報を出来るだけわかりやすくお知らせし、希望される方が、安心して接種頂けるよう事務を進めて参ります。

次に、JR只見線再開通に向けての取組状況であります。過日、福島県及びJR東日本の共同発表があり、10月1日に全線運転再開が決定されました。当日のセレモニーなどの詳細な計画については、福島県及びJR東日本から、まだ示されていませんが、当初予算で、ご決定を頂いた事業を、再開通に合わせ、関係機関と連携しながら取組を進めて参ります。町独自の事業としては、沿線の景観形成やレールウォーク、町民の只見線を利用したツアー、来る6月19日のドキュメンタリー映画「霧幻鉄道」上映会などを実施し、福島県、沿線市町村と共に只見線利活用計画に沿って、再開通に向けた事業の推進に取り組んで参ります。

次に、移住・定住対策についてであります。4月1日に「移住支援センター」をJR会津川口駅前にオープンいたしました。支援業務を金山町観光物産協会に委託し、移住定住の窓口として、今後に期待しているところであります。ゴールデンウィーク期間中も、帰省者や観光客等に対応した取組みが行われ、これまでの相談件数は、電話相談も含め25件であり、今後も、情報発信に努めながら移住・定住対策を推進して参ります。

次に、6月2日に金山町を含め、会津地域13市町村と株式会社モンベルが「包括連携協定」を締結いたしました。この協定は、福島県会津地方振興局管内市町村が、株式会社モンベルが掲げる社会に果たすべき使命7項目について、連携・協力して地域の活性化・町民生活の質の向上に寄与することを目的としております。今後、これらを踏まえて各分野において連携を進めて参ります。

次に、冬期間の高齢者等の雪対策についてであります。先月、地域振興検討会を立ち上げ、雪対策に関する検討を諮問いたしました。検討会の委員の方からは、除雪オペレーターが不足していること、大雪時には一斉に依頼が来て対応ができないこと、現状の分析を行うべきなど、様々な意見・問題が出されたと聞いております。今後、検討会で議論を重ねてもらい、今年の冬に間に合うよう雪対策への支援について答申を頂く予定であります。

次に、5月31日に閉鎖しました令和3年度金山町一般会計の収支状況について報告いたします。

歳入総額は37億6,450万6千円、歳出総額は35億1,261万9千円で、差し引き2億5,188万7千円となり、繰越明許費繰越額245万7千円を除いた実質収支は2億4,943万円の黒字決算となっております。決算の詳細については9月定例会において報告いたします。